

令和5年度 第1回学校運営協議会 議事録

日 時 令和5年6月28日(水) 13:00～15:00

場 所 総和中学校会議室

参加者 ①渡辺委員 ②綾部委員 ③印出委員 ④須長委員
⑤岩出委員 ⑥岩田委員 ⑦助川委員
⑧竹村校長 ⑨木塚教頭 ⑩松崎教頭
⑪中村教務主任(オブザーバー参加)

計 11

窓



←会議室座席

配付資料 第1回要項(含、説明資料)、学校要覧、学校だより

内 容

1 学校長あいさつ 13:05

2 委嘱状交付

3 委員自己紹介

どの委員さんも総和中への思い入れがあり、協力への前向きな発言がありました。

4 会長及び副会長の選出

会 長 渡辺 勉 委員

副会長 綾部 恵美 委員 **承認**

5 会長あいさつ

渡辺会長より 「学校は、地域のものであり地域で子どもたちを育てていきたい。」

6 議事

(1) 学校運営協議会について 校長より

「未来を担う子供たちの豊かな成長のために、社会全体で育てていく時代になった」

(2) 令和5年度総和中学校の学校経営について 校長より

グランドデザインをもとに説明 **承認**

②綾部副会長より 重点的な取組に「生徒一人一人の自主性・自立性を高める」とあるが、教師側だけでなく、こういうことをやってみたいといった生徒の意見を取り入れて活動していくことで活性化するのではないかといった意見をいただいた。

～授業参観～ 13:40～14:00

学習用端末を使って学習している様子や廊下の掲示物にも興味を示している様子があった

(3) 本校の教育活動について

○組織編成に関すること 木塚教頭より学校要覧をもとに説明

○教育課程の編成について 教務主任中村より教育課程編成書、時間割、年間計画をもとに説明

○施設管理及び施設設備等に関すること 松崎教頭より教室配置図と学校配当予算をもとに説明

○学校、保護者、地域との連携による教育に関すること

松崎教頭よりホームページ、学校評価、リーバー(出欠アプリ)、メールをもとに説明

ホームページは毎日発信を目標にしていること、学校評価においては自己有用感が低いため向

上のために多面的・多角的に取り組んでいること、リーバーやメールで保護者と情報を共有していることを伝えた

○生徒に関すること

- ・松崎教頭が方面別生徒数をもとに説明
学区外申請の現状もある。将来的に下辺見小と中央小が増える見通しがある。今後、適正規模・適正配置の動向を見守りたい。
- ・総和中のきまり 木塚教頭より総和中中学校生活のきまりをもとに説明。
中学生らしい髪型など校則の共有実践の難しさを伝える。
- ・年度始めの交通安全指導計画
朝と放課後立証指導をしている。自転車の乗り方が悪いと地域から連絡をいただくことがある。
その都度指導を繰り返している（木塚）
信号機が歩車分離式になるとよい。信号機のボタンを押すと歩車分離式になるのが理想（校長）
古河警察署に行く機会がよくあるので、伝えてみる（渡辺会長）
夕方散歩をしている地域の人もあるため、そういった方々に下校中の生徒を少し注意をして見てもらえるよう発信するとよいのではないか（岩田さん）
以前は総和中も地域へ立哨指導をお願いしていた時期があった。たすきを保護者に渡しておき、1週間の中で1回時間と場所を自分で決めていただき立哨するという形。たすきを次へつなげることが難しかった。なくしてしまったり、次の人に渡せなかったり（助川）
急には地域の見守りは広がらないが、何年かかけて少しずつできるようになるのではないかな。
ここにいる私たちが、地域の集まりなどで話題にしていけるとよいのでは（渡辺会長）

○その他

- ・職場体験学習を来年度は実施したい。地域は受け入れるだろうか。（中村史）
→商工会に聞いてみるとよい（渡辺会長）
→保護者もいろいろな職業の人がいる。ブースをつくり色々な職種の方からお話を伺うのもよいのではないかな（岩田さん）
- ・防災学習を少し広げたい。2年生を対象に、2時間程度。10月か11月に。防災士が第10地区コミュニティにいる。避難所運営ゲームのHUGをやりたい
→校長 部活動単位で参加し、非常食の試食やケガ等の応急処置など学ぶ機会になるといい

（4）渡辺会長より

古河は魅力的な町である。よさを伝えていきたい。「SENSEKI」鷹見泉石の映画を作成している。撮影現場を見学したいなど何かあれば相談にのる。古河市出身の映画監督も携わっている。進撃の巨人の浅野恭司監督やスパイファミリー作者の遠藤達哉さんや「シン・ゴジラ」で日本アカデミー賞最優秀監督賞を受賞した樋口真嗣監督など。

（5）今後について

- ・息吹祭の見学
- ・第2回は12月にお昼を入れて開催予定（給食試食）